



平成30年10月5日

健康福祉部健康増進課
担当者 佐野、野路、上藤
電話番号 0776-20-0351
県庁内線番号 2625、2626

麻しん（はしか）の発生について

1 概要

平成30年10月4日、福井健康福祉センター管内の医療機関から同センターに対し、麻しん疑い患者の届出があり、衛生環境研究センターで検査を実施したところ、麻しんウイルス陽性が確認されました。

このため、福井健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施しました。

2 患者等の状況

福井健康福祉センター管内在住の40代 男性 1名

主な症状：発熱、発疹

発症日：平成30年9月30日

現在の状態：症状は回復している。

推定感染地域：ベトナム

予防接種歴：1回

発症後の行動範囲：自宅静養（公共交通機関や施設等の利用なし）

3 発生に伴う対応

福井健康福祉センターにおいて、次の措置を実施しました。

- ① 本人の健康状態、行動を調査
- ② 接触者の有症状時の早期医療機関受診、受診の際の医療機関への事前連絡

4 麻しんの発生状況

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年 (全国は暫定数)	平成30年 (全国は9月23日現在)
全国	462	35	165	189	209
福井県	0	0	0	0	1

※福井県は平成23年1件、平成22年8件、平成21年4件、平成20年17件の報告がありました。

5 医療機関の皆様へ

- ・発熱や発疹を呈する患者が受診した際は、麻しんの予防接種歴や渡航歴の確認等、麻しんを意識した診療をお願いします。
- ・麻しんを疑う患者を診察した際は、個室管理を行う等、麻しんの感染力の強さを踏まえた院内感染対策を実施してください。
- ・臨床症状等から麻しんと診断した場合は、速やかに最寄りの健康福祉センターへご連絡ください。

※ 麻しんの発生がありましたので、以下のことを徹底してください。

- ・麻しんウイルスに感染すると約10日後、熱やせき、鼻水など、風邪のような症状がでます。解熱後、数日すると、38℃以上の発熱、全身の発しんが出て、ほほの内側に白い斑点（コプリック班）が出ます。
- ・症状から麻しんが疑われる場合、**必ず事前に医療機関に電話連絡してから受診してください。**また、受診の際は、周囲の方へ感染させないように**公共交通機関等の利用を避けてください。**
- ・麻しんの定期予防接種は1歳児、就学前の幼児です。対象者は早めに受けましょう。
- ・海外への旅行を予定している方、麻しんの予防接種を2回接種していない方は、MRワクチンの予防接種を検討してください。